

【開催事業の案内】

次の「大津市環境基本計画」についてみんなで考えましょう

大津市の環境の未来を描く「大津市環境基本計画」が見直しされ、第3次計画が策定されます。見直しにあたり市民・市民団体・事業者が集まり、大津市の環境の「いま」と「これから」について、意見交換会を開催します。奮ってご参加ください。

現行の環境基本計画は、右のQRコードからご覧になれます。



- 日時：令和2年2月1日（土）13：30～16：10
- 場所：明日都浜大津ふれあいプラザ4階 ホール（大津市浜大津4-1-1）
- 内容：講演「大津市の環境の現状と環境基本計画について」 大津市環境政策課
意見交換 グループに分かれてディスカッション
「10年後のわたし、10年後の大津。どうなってる？どうしたい？そのためには？」
- 意見共有：ディスカッションで出した意見をみんなで共有しましょう
- 参加資格：大津市在住、在勤、在学の方
- 定員：60名（申込先着順） ・ 参加無料

おおつ市民環境塾2019後期

- 講座7 講演「省エネと再エネのすすめ」 1月18日（土）14：00～16：00
場所：明日都浜大津ふれあいプラザ4階視聴覚室 定員：30名（申込多数のときは抽選）
講師：産業技術総合研究所主任研究員 歌川 学氏
- 講座8 体験学習「菜の花まつり 食べよう菜の花」 2月29日（土）10：30～12：30
場所：雄琴菜の花畑（おごと温泉駅から徒歩5分）雨天時は3月1日 定員：25名
指導：おおつ環境フォーラム 菜の花プロジェクト（申込多数のときは抽選）

地域で地球温暖化防止にどう取り組むか

自治会等地域で実施した「ごみ減量」や「家庭における省エネ・創エネ」の実態調査の結果を持ち寄り、更なる温暖化防止のために地域で取り組めることについて意見交換し、今後について考えます。

- 日時：2月15日（土）14時～16時
- 場所：明日都浜大津ふれあいプラザ4階視聴覚室
- 内容：（1）アンケートの結果について（報告）
（2）今後の取り組みについて
自治会等地域の関心事を参考に次のテーマに分かれてグループで意見交換します。
①ごみ（生ごみ・プラスチックごみ）を減らし資源として活用する
②家庭で電気を「創り・蓄え・賢く使う」
③未来をひらくエネルギー・水素を活用する
- 定員：30人（申込多数のときは抽選） ・ 参加費：無料

省エネルギー・再生可能エネルギー講座と個別相談会

小規模事業者（電気代月3～10万円程度）のみなさまを対象に、「すぐに」、「大きな」経済効果が期待できるエネルギーの節約方法を具体的に詳しく解説します。太陽光発電など再生可能エネルギーの導入事例についても紹介します。講座終了後、個別相談に応じます（事前連絡のあった方を優先します）。

- 日時：2月18日（火）14時～16時
- 場所：明日都浜大津ふれあいプラザ5階中会議室
- 定員：30人（申込多数のときは抽選） ・ 参加費：無料
- 申込は、2月13日（木）までに
参加申込・お問い合わせ：大津市地球温暖化防止活動推進センター（特定非営利活動法人おおつ環境フォーラム）
TEL077-526-7545 Fax077-526-7581 E-mail info@otsu.ondanka.net

大津市地球温暖化防止活動推進センター（特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム）
〒520-0047 大津市浜大津4-1-1 明日都浜大津4F Tel：077-526-7545 Fax：077-526-7581
E-mail：info@otsu.ondanka.net HP：http://otsu.ondanka.net/ 編集責任：森口 行雄



11/22、エコ料理教室

大津市地球温暖化防止活動推進センター情報誌

センター通信

No.14

2019年度冬号

特集 「プラスチックごみ」を減らそう

私たちの生活の中で、使い勝手のよいプラスチック製品は、うっかりしていると増えてしまいます。使用量が増えると使用済みのごみも増えます。プラスチックごみ（以下、プラごみ）の増加による影響は、世界的な環境問題となり国際会議でも対応策が話し合われています。今号では、「プラごみを減らす」ことを考えます。

★大津市は、どのような状況ですか

大津市環境部廃棄物減量推進課におたずねしました。全体像を把握するために、グラフをご覧ください。緑色の棒グラフは大津市における「ごみ総排出量」で、近年減少傾向にあり、平成30年度は約103千トンとなっています。このうち、プラスチック製容器包装ごみ（以下、プラ容器等ごみ）の排出量は、約1.6%にあたる1,600トンで赤色の折れ線グラフのとおり平成26年度からほぼ同じ量で推移しています。家庭から出るプラごみには、ペットボトルもあり、市が収集している使用済みペットボトルの量は年間約700トンです。

なお、今年度上半期の家庭から出る「燃やせるごみ」の量が増加傾向にあり、前年比1.74%増になっています。油断大敵です。

そして「燃やせるごみ」の中に再資源化が可能な紙ごみやプラ容器等のごみが約30%も含まれているということです。再資源化を進めるにはしっかりと分別が大切です。

★収集したプラごみはどのように処理していますか

大津市には家庭から収集したプラ容器等ごみやペットボトルを再資源化するための中間処理施設として、ペットボトルについては市北部の北部クリーンセンターと南部の大津クリーンセンター（令和2年度より環境美化センターへ機能移転）があります。またプラ容器等ごみについては北部クリーンセンターが業務を担っています。

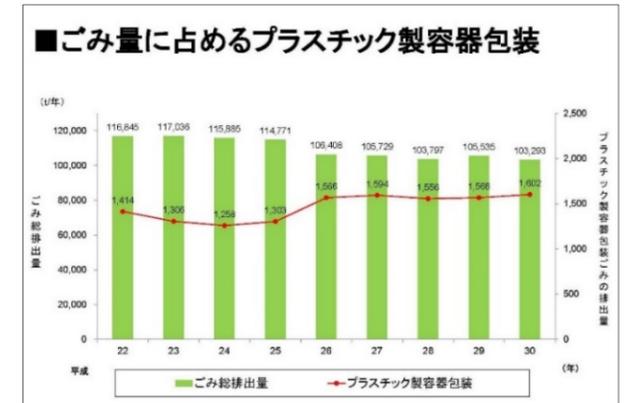
大津市の再資源化率（平成29年度）は、ペットボトルが約88%、プラ容器等ごみも約87%となっています。

★北部クリーンセンターを訪ねました

市の「プラスチック製容器包装収集日」に家庭から出されたプラ容器等ごみがどのように処理されているのかを知るために、北部クリーンセンター（伊香立北在地町）の中間処理施設を訪ねてお話を聞きました。

この施設は、平成19年2月に開設され、収集されたごみの資源化を図っています。

日に5～6トンのプラ容器等ごみが処理されています。施設に持ち込まれたごみは、まず、選別ラインで資源化できない異物（プラマークが付いていない物）を手作業で見極め除去されます。除去される異物の量は12～13%になるということです。家庭からごみ出しする時にプラマークの付いていない物をしっかりと分別しておけば、それだけ手作業が省けます。



収集したプラスチック製容器包装ごみの手選別作業



圧縮・梱包してリサイクル